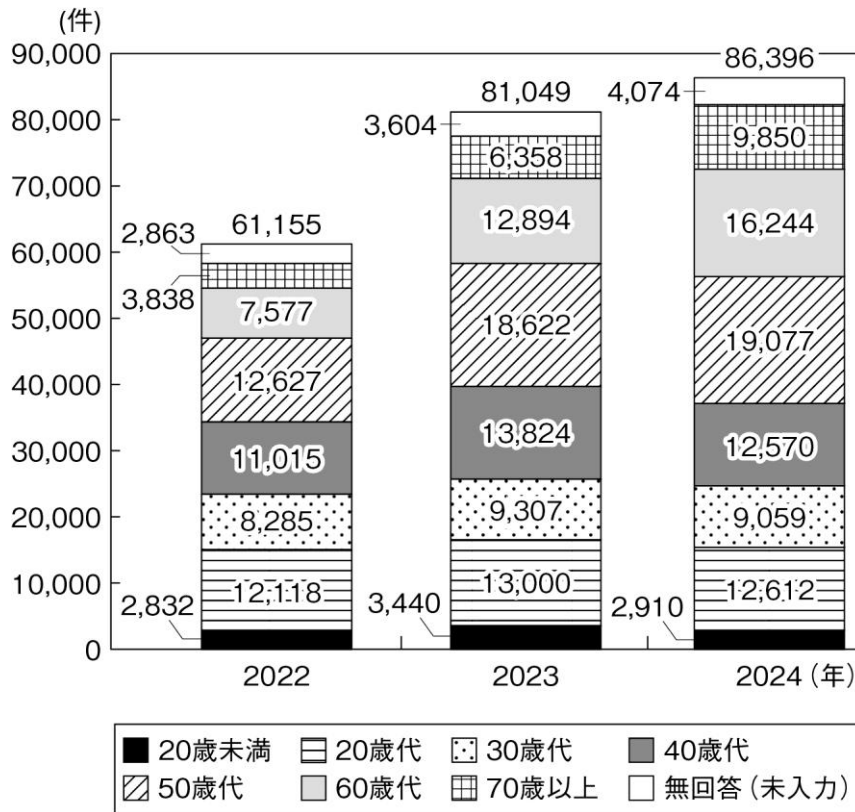


次のグラフは、2022年から2024年までの、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）が関係する全国の消費生活相談件数の推移を表したものである。このグラフをもとに各問題に答えなさい。

【図 SNS が関係する消費生活相談件数の推移】



(参考) SNS をきっかけとした事案への消費者庁の対応状況
●通信販売業者に対する行政処分
【関係する商品・サービス】：ダイエット食品等
【実施時期】：2025年3月14日
【概要】：誇大広告、最終確認画面における表示義務違反、最終確認画面における誤認表示（特定商取引法）
【対応の内容】：業務停止命令6か月及び指示、代表取締役に対する業務禁止命令6か月
●「タスク副業」で報酬が支払われるとうたい、実際には高額を送金させる事業者に関する注意喚起
【関係する商品・サービス】：内職・副業
【実施時期】：2025年2月6日
【概要】：SNS上の広告をきっかけに、高額な参加費用を支払う高収入タスク副業に誘導し、作業ミスによる追加作業に要する費用として高額を追加送金をさせるなどの消費者を欺く行為（消費者安全法）
【対応の内容】：消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表・注意喚起

出典：『令和7年版 消費者白書』消費者庁ホームページ

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_research/white\\_paper/assets/consumer\\_research\\_cms201\\_250707\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/white_paper/assets/consumer_research_cms201_250707_01.pdf)

### 問題 1

相談件数の総数の推移、及び年齢層別の相談件数の推移を読み取り、その特徴と背後にある要因を 400 字以内で説明しなさい。

### 問題 2

SNS 上には日々多数の広告が表示されており、またそれらの広告を巡っては、消費生活上のさまざまなトラブルが発生している。こうしたトラブルを回避するために、SNS 利用者は自らどのような対策を講じたらよいとあなたは考えるか、400 字以内で説明しなさい。なお、SNS 上の多くの広告は、SNS の各利用者が過去にどのようなウェブサイトを開覧したか、その閲覧履歴が広告企業により追跡され分析されながら、表示されている。そうした現状を踏まえて、説明を行うものとする。